

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

名越クリーンセンター収集事業

【 名越クリーンセンター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター収集事業

- ・鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,768	36,079	32,993		3,086
主な支出内訳				
・名越クリーンセンター収集事業				
収集作業用消耗品費				1,460
収集車両燃料費				10,044
収集車両修繕料				10,511
坂ノ下積替所車両交通誘導業務委託料				1,348
じん芥収集車購入費(更新3台)				8,483
主な特定財源				
・地方債				
				6,300

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) <ul style="list-style-type: none"> ・病欠等による運転員不足に対応するため指導員・副指導員がごみの収集作業を応援しているため、クリーンステーションや事業所への分別排出指導等の時間の確保が難しくなっている。 ・ごみの収集時にカラス被害によるごみの清掃作業やネットの整理等に時間がかかり収集時間が遅延するため、クリーンステーションのサイズに合ったネットが必要である。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) <ul style="list-style-type: none"> ・カラス被害による収集効率低下対策として、ネットサイズ(3m×4m)を新設し、ある程度改善した。また市民の協力によりBoxを利用する箇所が増えたことも改善の一因となっている。 ・分別指導不足に対応すべく、分別や排出間違いに対応する「新ダメシール」を活用し、周知を徹底した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) <ul style="list-style-type: none"> ・異動や退職に伴う運転員不足 ・収集業務に就けない故障者の配置先が少なく療養休暇の利用が多くなっている。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) <ul style="list-style-type: none"> ・運転員の確保については現状では厳しい状況にあるので軽車両の運転だけでも運転員以外を充てることができないか、関係課等との調整を行う。 ・故障者の配置先については職場内の作業内容を見直して現在手薄になっている副指導員の仕事の補助業務に充てる等、柔軟に対応する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	ごみの収集は、市民生活にとって重要な事業である。退職者不補充による職員数の減少や高齢化に対応するため、市民要望の多いふれあい収集を充実し、通常の収集には民間活力を導入するよう検討する必要がある。		
担当課長氏名:	名越クリーンセンター所長 古谷 修		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	ごみの収集は市民生活に密着した業務であることから、安定した収集体制を確保するため民間活力の導入を積極的に検討するとともに、高齢化社会に向けた声かけふれあい収集の拡充に努めていきます。		
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋